



# 可動短絡器

## 【可動短絡器】

可動短絡器は完全反射を示す短絡位置を使用周波数に対して半波長以上移動できるようにしたものです。単体として可変リアクタンス素子として使われ、T分岐により分路とすれば整合器として用いられます。また定在波測定器と共用して、いわゆるS曲線法により不連続点のVSWR測定にも使うことができます。



形式	周波数範囲 (GHz)	ストローク (mm)	目盛の細かさ (mm)	最小VSWR	使用導波管	送り機構
WSS-028	1.7～2.6	150	0.1	100	WRJ-2	ラックピニオン
WSS-038	2.6～3.95	100			WRJ-3	
WSS-048	3.3～4.9	75			WRJ-4	
WSS-058	3.95～5.85	70			WRJ-5	
WSS-068	4.9～7.05	50			WRJ-6	
WSS-073	5.8～8.2	40	0.02	60	WRJ-7	ネジ送り
WSS-093	7.05～10.0	35			WRJ-9	
WSS-103	8.2～12.4	35			WRJ-10	
WSS-123	10.0～15.0	25		60	WRJ-120	
WSS-153	12.4～18.0	20			WRJ-140	
WSS-183	15.0～22.0	20	0.02		WRJ-180	
WSS-241	18.0～26.5	15	0.01	50	WRJ-220	ネジ送り
WSS-261	22.0～33.0	15		40	WRJ-260	
WSS-341	26.5～40.0	10			WRJ-320	
WSS-501	40～50	6		30	WRJ-500	

